

タウンミーティングで出された意見等に係る 前期基本計画への反映状況

五和地区(実施日:平成29年10月2日)

対応状況・反映状況の凡例
 ◎…すでに前期基本計画に盛り込まれているもの
 ○…前期基本計画に反映したもの
 ×…前期基本計画には反映しないもの
 ……質問等により、特に前期基本計画に反映する必要がないもの

※色が塗られたものは、当日挙手制による意見交換を行ったものです。

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|--|---|--------------|---------------------|
| 1 | 少子化対策の具体的推計数値をどう捉えているのか。また、それに向けての具体策は。 | 少子化対策の目標数値として合計特殊出生率が挙げられます。県の総合戦略では、2.07（人口の増減がなくなる）とする目標を掲げていますが、現実的に実現できない数値と認識しています。当市の総合戦略では、平成24年度に1.51であった数値を平成31年度に1.60に上昇させる目標を立てています。これは、2060年度に人口8万人とする長期目標と連動したのとなつています。これに基づき、保育所や放課後児童クラブの受け入れ拡大や保育料の第2子半額・第3子以降無償化など、他の自治体と比較してもトップクラスの内容であると考えています。 | — | |
| 2 | 人口の見込み目標が設定されており、減となる要素があるものだが、目指す目標数値に対する根拠を示して欲しい。 | 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の中で、2060年の目標人口を8万人としています。これは、同時に策定をした「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、国、県の総合戦略の施策の効果が十分に発現すれば、2040年に合計特殊出生率は2.07へ上昇、社会移動は2020年頃に均衡する想定です。これにより、緩やかな人口減少と年齢構成のバランスが維持され、高齢化率は2040年に35.3%のピークを迎えた後、2060年には32.9%と想定される中で、さらなる合計特殊出生率の上昇や地方創生の進展を期待し、目標人口を8万人としています。 | — | |
| 3 | 平成37年（2025年）の人口92,251人と設定されているが、この大まかな年齢構成はどうであるか。一般的に言われている生産人口はどの程度か。この生産人口が減少していく中で、総合計画の推進には行政と地域の役割を明確化する必要はないのか。 | 平成37年（2025年）人口の年齢構成比率として、年少人口（0歳～14歳）が12.5%、生産年齢人口（15歳～64歳）が54.8%、高齢人口（65歳以上）が32.7%と推計されています。今後、少子化・超高齢社会へとさらに進んでいくと想定されている中でも、市民の満足度、幸福度を高めていくためには、行政と地域の役割を明確化するだけでなく、協働、連携することも必要であると考えています。 | — | |
| 4 | ICT、ICTコンソーシアムとは何なのか。 | 教育・産業分野へのICT（情報通信機器・技術）の導入、活用を推進し、将来の島田市を担う人材の育成及び産業の活性化を図る、官と民が連携した組織です。 | — | ◆わかりにくい言葉には注釈をいれます。 |

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|---|---|--------------|--|
| 5 | 人口減少を食い止めるための具体案はどのようなことがあるか。 | <p>人口減少対策については、平成27年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に個別具体的に位置づけ、総合計画ではそれらを包含し、未来を確かなものとする総合的な指針としているところです。</p> <p>具体的には、総合戦略は「稼ぐ産業を創出し、しごとをつくる」「まちの魅力を高め、移住・定住を促進する」「子どもをまん中に子育てし、自然動態を増加させる」「健康長寿の暮らしやすいまちづくり」の4つを柱とし、総合計画では、その4つの柱を盛り込みながら市民生活の安全・安心の確保を軸に広く目指すべまちづくりを描いています。</p> | — | |
| 6 | 市民病院の医師確保について、何か考えていることはありますか。 | <p>現在、定期的に市長自ら浜松医科大学を中心に情報交換し、医師派遣を要請するなど確保に努めています。</p> <p>また、新病院建設や最新の医療機器（ダヴィンチなど）の購入など、医師に魅力のある病院とすることも必要だと考えます。</p> | ◎ | <p>施策の柱1-2-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元医大をはじめとした関連大学に対し、医師派遣の働きかけを継続するとともに、医学生や看護学生に対する修学資金制度の活用を図り、医療スタッフの確保を進めます。 |
| 7 | 子供を対象としたスポットの整備はないのか。（観覧車、大型すべり台など） | <p>伊太田代地区に、幅広い年代を対象とした施設整備を計画しています。今までに市内には設置していない、大型複合遊具の設置を検討しています。</p> | ◎ | <p>施策の柱2-5-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田代の郷整備事業地内に「子供から高齢者までが、楽しく健康の保持増進ができる多目的スポーツ・レクリエーション広場」を整備します。 |
| 8 | パラグライダー事業について、8月から来年3月まで毎月30人程度を見込んでいると議会だよりにありましたが、現状はどうですか。 | <p>体験フライトには、8月に32名が参加しました。</p> <p>また、9月は天候の影響から15名と減少しましたが、徐々に認知度も上がり、予約状況などは順調に推移していると認識しています。</p> | — | |
| 9 | 茶業の振興と販売促進とあるが、第1次計画中の成果と実績はどうか。また、第2次計画では、その成果等をどのように反映しているのか。 | <p>茶改植補助や茶園基盤整備などの農業施策に加え、首都圏などで当市産茶葉の販売・PRのほか、海外への売り込みを行うなどシティプロモーション島田市緑茶化計画とリンクした取組を進めてきました。</p> <p>また、産官学が連携しててん茶が配合された2次製品を開発し、その後引き合いが増えるなど、新たな可能性を拓いたと考えています。</p> <p>第2次総合計画では、引き続きこれらの取組を進めていきます。</p> | ◎ | <p>施策の柱3-4-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の優良農林産品を販わい交流拠点で製造・加工販売し、知名度を高めていきます。 ・シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売祖徳進活動を国内外に展開していきます。シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売促進活動を国内外に展開していきます。 <p>施策の柱5-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップや様々なイベント等を通じて、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさ、そして「日本一のお茶のまち 島田」を、多くの人に伝える機会を創出します。 |

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|---|---|--------------|---|
| 10 | 自然環境の保全と言っているが、荒廃農地が増えており、この対策はどうするのか。 | <p>耕作放棄地の未然防止対策としては、地域農業をみなさんで守っていただくよう、国の「中山間地域直接支払制度」や「多面的機能支払交付金事業」の活用を推進して、農地の保全に努めています。</p> <p>また、農業委員会では、農地パトロールの実施により、耕作放棄地の現状把握に努めるとともに、耕作放棄地の所有者に対して、耕作の再開や草刈等を促す農地管理指導を行うほか、担い手を見つけ集積を働きかけるようにしています。</p> <p>なお、既に耕作放棄地となった農地への対策としては、国の交付金事業を活用して、再生・解消に努めていきたいと考えています。</p> | ◎ | <p>施策の柱3-4-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者やビジネス経営体の育成、法人経営への誘導を進めるとともに、女性農業者の育成や新規就農者の支援など、多様な農業経営の担い手確保を図ります。 ・農地中間管理事業や人・農地プランの活用により、担い手への農地集積を図ります。 <p>施策の柱4-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの補助制度の活用や、農業委員会の管理指導等により、耕作放棄地の発生抑制と解消を図ります。 |
| 11 | 企業誘致の具体案はどのようなことがあるか。 | <p>現在、市では新東名島田金谷IC周辺地区に工業用地を計画しており、企業立地に向けた誘致を進めています。当地の優位点である、強固な地盤であること、質の良い地下水が豊富であること、さらに、陸・海・空が近接する広域交通結節点の地であることを活用し、地下水を利用する製造業や物流業などの誘致を目指しています。</p> <p>なお、工業用地の整備については、堤間地区と牛尾山地区を優先的に進めていく計画です。</p> | ◎ | <p>施策の柱3-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。 |
| 12 | 賑わい交流拠点は人が常時くるのか。 | <p>焼津さかなセンターや道の駅（掛川）といった同等の施設規模を参考に、年間140万人程度の来客を見込んでいます。</p> <p>現在、大井川農協、大井川鐵道、中日本高速道路、市の4者で継続してワーキンググループを進めながら、事業の成功を目指した実施計画を策定している状況です。</p> | — | |
| 13 | 農家の担い手不足、高齢化による耕作放棄地の増加など、中山間地域における取組について説明をお願いします。 | <p>主に栽培されているお茶に関しては、有機てん茶の製造に転換するなど、特色ある中山間地域の農林産物が売れるアイデアを提案しながら、必要な支援を行っていくとともに、法人化等に対応できる人材の育成、新規就農者・帰農者の受け入れなど、多様な担い手の確保に努めるなど、「農業で稼ぐ」仕組みをつくっていきます。</p> | ◎ | <p>施策の柱3-4-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林生産物を効率的に栽培・収穫・加工できる施設整備や、中山間地域の特色を活かした農業を進め、所得の向上を図ります。 ・認定農業者や、ビジネス経営体の育成、法人経営への誘導を進めるとともに、女性農業者の育成や新規就農者の支援など、多様な農業経営の担い手確保を図ります。 ・農地中間管理事業や人・農地プランの活用により、担い手への農地集積を図ります。 |
| 14 | 商店街や個店を支援するとあるが、どのようにしていくのか、決まっているのか。 | <p>島田市産業支援センター「おびサポ」の相談業務の充実や、おび通りで開催するイベント等によるにぎわいの創出により、商店への誘客を促進していきます。</p> <p>また、商店街に対しては、リノベーションにより空き店舗を活用する場合の補助制度の創設を検討しています。</p> | ◎ | <p>施策の柱3-3-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携のもと、おび通りや駅前緑地を活用した多彩なイベントを開催することで、中心市街地ににぎわいを創出し、経済の波及効果を図ります。 ・空き店舗対策として、再活用を目指したリノベーションを支援するなど、中心市街地の資産価値を高める取組を進めていきます。 |

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|--|--|--------------|--|
| 15 | 茶業の衰退による代替産業の考えはありますか。 | 茶業は、今後も当市の主要産業として位置づけ、振興を図っていきます。 | × | |
| 16 | 金谷、五和地区の市民病院への足の確保はどうしていくのか。 | 金谷地区から市民病院までは、民間事業者が運営している路線があります。バスの通っていない地域については、タクシーを利用した移動手段を検討しており、そのタクシーをバス停まで接続することで、市民病院まで行くことが可能となると考えています。 また、同様に自治会やNPOが主体となった運行システムを構築することで、利用者の目的に合った運行が可能であると考えています。 | ◎ | 施策の柱4-4-3 ・運行地域、予約方法、運行形態などを工夫し、公共交通としてタクシーを利用した移動手段の構築を目指します。 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。 |
| 17 | 人を育て、地域の絆を高めるとはどうすれば良いのか。 | これからの高齢化社会を乗り越えていくため、そして、いつ起きるか分からない災害に対応するためには地域の力が必要となります。そのためには地域住民どおしが積極的に交流し、風通しのよい見守り合う地域づくりが必要となります。 そのためにも、ゆめ・みらい百人会議やファシリテーション講座といった地域のリーダーとなる人材を育てる施策やまちづくり支援事業交付金といった活動を支援する取組、また、自治会活動の新たな担い手となる女性が役員として活躍する機会をつくっています。 | — | |
| 18 | 諏訪原城跡、川越遺跡の整備はどんなことを行うのか。 | 諏訪原城跡については、国指定史跡諏訪原城跡の復元、保存、施設、環境整備を実施し、史跡を後世へと引き継いでいくとともに武田流築城術と呼ばれている諏訪原城を広く社会に紹介していくものです。 川越遺跡については、番宿等川越制度に関連する施設の保存、整備を行い、島田市の歴史的資産として後世に伝えていくものです。 | ◎ | 施策の柱5-1-1 ・大井川川越遺跡は、歴史的景観のほか学術的な価値を踏まえた保存管理を進めながら整備活用につなげていきます。 ・武田流築城術により山城として高い評価を得る諏訪原城跡について、復元・保存整備に加え、見学者の利便性向上につながる整備を進めていきます。 |
| 19 | 日本の城100選にもなっている諏訪原城の築城は考えられないか。 | 現在のところは建物の復元は考えていませんが、山城の特徴である土塁の復元や堀の整備は、引き続き進めていきます。 | × | |
| 20 | 移住定住の促進について、具体的にどのような取組を行うのか。 | 県外からの移住を促進するため、首都圏等での移住相談会、セミナーへの出展や、川根地区移住体験モニターツアーの実施、県外移住者に対する住宅購入に関する補助制度のほか、移住・定住ポータルサイトを活用し、移住希望者に情報発信していきます。 | ○ | 施策の柱5-3-1 ・首都圏における移住相談会や体験ツアーの開催をはじめ、当市の特徴である「ほどよい田舎暮らし」をPRし、住まいや仕事に関する情報発信力を強化します。 ・空き家バンク事業や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。 ※下線部を追加しました。 |
| 21 | 島竹下線の拡幅工事が計画されているようですが、その先（富士食品の入口）までの工事予定はいつ頃か。 | 基本的に国道473号の交差点部から工事を施工しており、富士食品側については、平成36年度以降の施工を予定しています。 | — | |

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|--|---|--------------|---|
| 22 | 大代川の浚渫について具体的に説明をお願いしたい。 | <p>大代川の管理を受け持つ県（島田土木事務所）に対して、浚渫の実施を働きかけています。</p> <p>なお、危険箇所につきましては、県・市職員のほか地域の方と一緒に定期的に現場を確認しているところです。</p> <p>なお、市が管理する河川（金谷地区の早川や錦糸川等）の整備については、第2次島田市総合計画に位置づけ、実施していく予定であります。</p> | ○ | <p>施策の柱6-1-3</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨による浸水被害を最小限に抑えるため、中小河川の改修や排水路の整備を計画的に進めます。また、国・県が管理する河川の整備促進や適正な維持管理を要望していきます。 <p>※下線部を追加しました。</p> |
| 23 | 賑わい交流拠点周辺の道路活用の計画や、観光客の滞在を含めた地域観光資源の活用計画について教えてください。 | <p>賑わい交流拠点の周辺の道路整備については、国道473号の島田金谷ICから国道1号大代ICまでの間の4車線化が計画されています。それに併せて、大井川鐵道五和駅に入る島竹下線の踏切部を含めた拡幅、交差点の改良を実施していきます。</p> <p>さらに、IC東側の横岡新田牛尾線、二軒家牛尾線の拡幅改良で、島田市中心部からのアクセス性が向上します。</p> <p>賑わい交流拠点の直近では、生活交通に支障をきたさないよう、周辺市道の拡幅改良を進めています。</p> <p>観光の視点においては、当施設を奥大井への新たな玄関口と位置づけており、観光案内所や無料駐車場の整備や大井川鐵道との連携（新駅設置）により、大井川鐵道に乗って川根地区の観光資源、例えば川根温泉やパラグライダーパーク等の利用促進につながる流域観光ルートを構築していきます。</p> <p>加えて、空港周辺旧金谷中学校跡地に民間による整備が予定されるにぎわいを創出する施設、県が整備するふじのくに茶の都ミュージアムとの相乗効果を図っていきます。</p> | ◎ | <p>施策の柱3-5-2</p> <ul style="list-style-type: none"> 賑わい交流拠点を核に、高速交通網と鉄道網が交わることで生まれる交通乗換機能（モーダルコネクト）がもたらす経済効果を大井川流域全体に波及させていきます。 <p>施策の柱6-2-1</p> <ul style="list-style-type: none"> 東名高速道路や国道473号などの広域幹線道路への連絡機能を強化する幹線道路を整備します。 <p>施策の柱6-3-4</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業用地として整備する堤間地区や牛尾山地区に、道路など都市基盤を整備し、企業誘致を促進します。 地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鐵道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります |
| 24 | 国道473号線の4車線化、市道島竹下線の進捗状況を教えてください。 | <p>国道473号線の4車線化に関しては、県が工事施工前の基本的な調査事業を進めていることを聞いています。</p> <p>市が施工する島竹下線の整備事業については、平成29年度までは沿線の用地買収・物件補償を進め、平成30年度からは目に見える形で工事がスタートし、平成35年度まで続く予定です。</p> <p>なお、平成31年度には大井川鐵道五和駅踏切の工事施工を予定しています。</p> | — | |
| 25 | 向島町公園の整備は必要であるのか。 | <p>昭和38年に都市公園決定後、平成11年度に策定した、「緑の基本計画」に位置付けられた公園整備事業です。</p> <p>市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくり、また、災害時に避難地として機能する公園を目指すものです。</p> | ◎ | <p>施策の柱6-1-3</p> <ul style="list-style-type: none"> 「緑の基本計画」に基づき、向島町公園などの公園整備を推進し、市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくりや、災害時に避難地として機能する公園を目指します。 |
| 26 | 「旧金谷庁舎の跡地利用について検討します」とありますが、いつまでに結論を出しますか。 | <p>現時点で具体的な時期は明言できませんが、民間事業者の関心や意向を踏まえつつ、様々な可能性を視野に入れ、地域の皆様と共に検討を重ねながら結論を出す予定です。</p> | — | |

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|---|---|--------------|--|
| 27 | 旧金谷庁舎の跡地、金谷北・南支所のあり方検討を「市民活動センターの拡充・推進」の視点で進められないか。 | 御提案の内容、さらに今までに検討された「金谷庁舎跡地利用検討委員会」の提案内容を踏まえ、様々な可能性について地域の皆様と検討していきます。 | × | 金谷庁舎の跡地利用については、施策の柱7-4-2の中で「金谷庁舎の跡地利用について、地域の公共施設の状況を鑑み、支所機能のあり方も含めて検討します」と示しています。 |
| 28 | 市民会館建設の必要性をどう捉えているのか。 | 旧市民会館を解体した現在、代替的機能を有する「プラザおおり」「夢づくり会館」「チャリム21」が市民の文化活動や商業公演の誘致といったニーズに十分に答えられていない状況に鑑み、新たな施設整備の必要性を検討するに当たり、市場性の有無という視点から民間資金による整備の可能性を調査しているところです。 この調査結果を踏まえ、市民会館建設の必要性も含めて詳細に検証する予定です。 | — | |
| 29 | 市役所周辺整備の必要性があるのか。 | 市役所本庁舎は建築から55年が経過し、度重なる修繕等に係るコストの増大に加え、大規模災害時における拠点機能の確保という面で懸念があることから、解体した旧市民会館の機能再生及び老朽化が進むプラザおおりの今後のあり方とともに、市役所周辺施設の一体的な整備の必要性を検討すべきものと考えます。 | — | |
| 30 | 旧金谷庁舎は今後どうしていくのか。市営のリハビリセンター等にしたらどうか。 | 御提案いただいた内容、さらに今までに検討された「金谷庁舎跡地利用検討委員会」の提案内容を踏まえ、様々な可能性について地域の皆様と検討していきます。 | × | 金谷庁舎の跡地利用については、施策の柱7-4-2の中で「金谷庁舎の跡地利用について、地域の公共施設の状況を鑑み、支所機能のあり方も含めて検討します」と示しています。 |
| 31 | 計画が多岐にわたり、これらが全部計画通りにいくか少々疑問です。重要なテーマを5、6点に絞り絶対的にやり遂げることを目標にしたらと思います。 | 総合計画に関する内容であるため、説明が総花的であったことにつきまして申し訳ありません。 期間内に特に重点的に進めていくものとして「新東名島田金谷1C周辺整備」「新病院建設」「旧金谷中学校跡地整備」「市役所周辺整備事業」を重点事業と位置づけて進めていくほか、市民の安全安心の確保、子ども子育て施策の充実に力点を置いた施策展開を図っていきます。 なお、具体的な計画（年度計画）については、総合計画の3層目にあたる来年9月策定予定の実施計画で明らかにしていきます。 | — | |
| 32 | 総合計画はアバウトな理想であっても可だが、実施計画においては事業等に対し目標を設けて実施すべきである。 | 御指摘のとおりであり、実施計画策定作業において具体的な目標等を決め、実現に向けて取り組んでいきます。 | — | |
| 33 | 説明が概要のみであり、具体的な内容でなかったため、何が最重要課題なのかよくわからなかった。 | 説明が総花的であったことにつきまして申し訳ありません。 最重要課題は人口減少への対応であります。それを克服する施策を総合計画に盛り込んでいきます。 | — | |

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|---|---|--------------|--|
| 34 | 高齢者や子供に関する取組についての説明があったが、障害者に対する取組の具体的なものが見えなかった。 | 詳細についてタウンミーティングでは説明しませんでした。 「弱い立場の人を支えあう」を政策の柱に、障害福祉サービスの充実、障害者の雇用・就労の促進に向けた取組を展開していきます。 | ◎ | 施策の柱1-4「弱い立場の人を支えあう（地域福祉・障害福祉）」の中で、具体的な計画、取組を示しています。 |
| 35 | 旧金谷庁舎の跡地利用について、安心して安全なまちづくり、子育てしやすいまちづくりのために、医療モール（内科、外科、産婦人科等）を計画してもらいたい。市内で現在開業している開業医を集積することも一つの方法と思う。 | 御提案の内容、さらに今までに検討された「金谷庁舎跡地利用検討委員会」の提案内容を踏まえ、様々な可能性について地域の皆様と検討していきます。 | × | 金谷庁舎の跡地利用については、施策の柱7-4-2の中で「金谷庁舎の跡地利用について、地域の公共施設の状況を鑑み、支所機能のあり方も含めて検討します」と示しています。 |
| 36 | 地区別の土地利用の方向について、具体的な取組はこれからだと思えますが、地元の農家と、福祉分野がコラボレイトする取組（国の進める農福連携）の促進をお願いします。 | 御提案いただいた内容について、調査・研究させていただきます。 | — | |
| 37 | 金谷本通りに集客の場所づくりをお願いしたい。 | 現在、金谷地区につきましては、新東名島田金谷IC周辺、旧金谷中学校跡地周辺を重点的に整備を進めています。 両事業の見通しが立った後、御提案の件について検討させていただきます。必要であれば次期後期基本計画に位置づけていきます。 | × | |
| 38 | 賑わい交流拠点のマルシェについて、今後新しいスタイルの農業経営が可能と思われます。高齢化した農家にも、若い人にも大いに元気のできる場所となることを期待しています。 | 賑わい交流拠点は、農林業振興と地域振興に加え、観光振興を目的に設置するもので、大井川の恵みを受けて栽培された優れた農林産品を集め、ここでしか味わえない、体験することができない工夫を随所で見せていきたいと考えています。 | ○ | 施策の柱3-4-3 ・市内の優良農林産物が集まり、製造・加工・販売されることで農林業従事者の所得向上につなげていくほか、 <u>農林業の良さを周知する農業体験プログラムが開催される「賑わい交流拠点」の運営を支援していきます。</u> ・シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売祖意進活動を国内外に展開していきます。 ※下線部を追加しました。 |
| 39 | 地場産品であるお茶の発展、新しい商品の開発などの取組を行ってほしい。 | 茶改植補助や茶園基盤整備などの農業施策に加え、首都圏などで当市産茶葉の販売・PR活動のほか、海外への売り込みを行うなどシティプロモーション島田市緑茶化計画とリンクした取組を進めてきました。 また、産官学が連携した、てん茶が配合された2次製品を開発しました。その後の引き合いの増加などから、新たな可能性が拓かれたと考えています。 第2次総合計画では、引き続きこれらの取組を深化させていきます。 | ◎ | 施策の柱3-4-3 ・市内の優良農林産品を賑わい交流拠点で製造・加工販売し、知名度を高めていきます。 ・シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売祖意進活動を国内外に展開していきます。 |
| 40 | 牧之原大茶園の成立過程は、全国に類をみない稀有なものである。剣士によって拓かれた日本近代茶業成立の地を「茶の聖地」と位置付け、県に移管されたお茶の郷と、新東名島田金谷ICに設立される施設とをコラボさせて、島田市の基幹産業である茶業の実質的な販売促進のために、「茶の聖地」構想をブランド化して、島田茶の特化を図ることを提案します。「茶の聖地」構想の具体案は「初期島田茶業史展」にて発表いたします。 | 御提案ありがとうございます。 島田市緑茶化計画の推進と合わせて研究していきたいと考えます。 | — | |

| No. | 提案・意見内容 | 回答 | 対応状況 反映状況 | 備考（前期基本計画内反映箇所など） |
|-----|---|---|--------------|---|
| 41 | 高齢化社会となり、水路壁面の除草が困難になってきています。水路は急傾斜となっており危険なので、水路壁面のコンクリート化の推進をお願いします。 | 急速な高齢化の進行により、今まで地域の皆様が実施してきた様々な行事や草刈等の作業が難しくなってきたとお声を伺うことが多くなっています。 市においてもそのような要望書の全てをお受けして対応を取ることは難しく、従来どおりそれぞれの地域に密着した施設の管理については、できる限り皆様の手で愛着を持って実施をしていただきたいとお願いをしているところであり、町内会等でご相談いただき地域の皆様に管理方法を考えていただけると大変ありがたいです。 なお、法面や壁面のコンクリート化につきましては、管理上必要な箇所から適時対応をしているところであります。 | × | |
| 42 | 堤間地区の開発について、優良企業誘致地域となるため、早期立地の促進をお願いしたい。併せて、アクセス道路の早期完成を目指し、当地域の公団（公社）化を行い、新たな就業の場を創出するためにも早期企業誘致がなされるように。 | 現在、「堤間地区」においては、アクセス道路、排水路整備を鋭意進めており、今後は用地買収を進めていきます。市としましては、「堤間地区」から段階的に誘致企業を決定していく予定です。 | ◎ | 施策の柱6-3-4 ・工業用地として整備する堤間地区や牛尾山地区に、道路など都市基盤を整備し、企業誘致を促進します。 |
| 43 | 空港周辺プロジェクトについて、観光の拠点として、例えばガンダム記念館を建設し、全国からガンダムファンにきていただく。なお、パンダイは県内の企業でありますので、県の協力も得ることができるのではないのでしょうか。 | 長年懸案であった旧金谷中学校跡地については、民間活力による施設整備に向けて調整を進め、10月に事業者募集を開始し、その募集要件として、富士山が見える茶畑の景観を活かした整備内容を条件のひとつとしています。 | × | |
| 44 | 市民活動にて利用される公共施設を縦割りではなく、市民活動の目線で整理し、整備して欲しいです。 | 中間支援機能を有する市民活動センターの設置要望を受けて、地域交流センター歩歩路内で運営しています。 | ◎ | 施策の柱7-1-1 ・市民が主体的にまちづくりに関わる活動の場として、地域交流センター「歩歩路」に中間支援機能を有する「市民活動センター」を整備し、運営します。 |
| 45 | 総合計画についてはよくわかりました。市民からの意見も大切ですが、気付きのできる市職員の人材育成が大事だと思います。人材育成に努め、また組織力を上げた島田市をつくりあげてください。 | 多様化する市民ニーズに応えるため、職員の行政課題への対応能力を高め、地域の実情に応じた行政運営を行う人材育成を進めていきます。 また、職員個々が組織力の向上を意識することが重要であり、人材育成基本方針にその旨を記載するとともに、島田市総合計画に基づき、全職員が同じ目的に向かって職務にあたるような仕組みづくりを進めていきます。 | ◎ | 施策の柱7-2-2 ・多様化する市民ニーズと高度化する行政課題に対応するため、行政職員として高い素養と柔軟な発想力を持った人材の育成に取り組みます。 |

※総合計画前期基本計画本文については、現在熟度を高める作業を行っているため、言い回しや表現方法など、変更される可能性があります。